

第 17 回災害対策本部会議 議事録

日時 令和 7 年 9 月 25 日（木）15：30～16：00

場所 八代市役所 3 階庁議室兼災害対策本部室

1 開会

2 現在の状況等

別添資料「現在の状況等」のとおり

3 各対策部報告等

(総務企画対策部)

- 肥薩おれんじ鉄道：9 月 27 日（土）始発より運行再開予定

(財務対策部)

- 寄附受入状況：21 件、総額 737 万 3340 円（前回比+5 件、+183 万円）
- り災・被災証明申請状況（累計）：要調査分（り災証明）1290 件（前回比-236 件）、床下浸水 2082 件（前回比+336 件）※申請書等を精査し、集計値を修正
- 被災調査：調査済 1277 件（98.9%）、証明交付 1141 件（交付率 88.45%）
- 市税等減免申請：窓口開設後 3 日間で 98 件（支所分含む）

(市民環境対策部)

- 災害ごみ搬入台数：累計 18193 台分
- 屋内消毒薬配布：累計 2378 本
- 総合相談・申請窓口：9 月 19 日開設、3 日間で受付 31 件、相談内容 48 件（住宅設備関連が最多）
- 窓口人員体制：市民活動政策課+全庁ローテ派遣で対応予定

(健康福祉対策部)

- 被災者への給付等：災害見舞金以外の申請はなし
- 税金・保険料等の減免措置：財務部報告のとおり
- 被災者の健康支援・状況確認：保健師が定期的に避難所を巡回。在宅被災者への訪問 2164 件、面談 1055 件、要支援者 47 名
- 住宅支援に関する訪問：県と連携し龍峯地区で住宅支援調査を実施
- 被災障がい者の状況把握：県事業として 10 月 8 日から 8 日間、対象 100 名程度を訪問し、状況把握等を実施予定
- 地域支え合いセンター：社協と協議中、生活支援相談員を配置予定
- ホテル避難者：11 世帯 13 名
- 義援金受入：49 件、総額 1226 万 7958 円

- 入浴支援：市内 14 施設＋老人憩いの家（代陽避難所閉鎖後は終了予定）
- 災害ボランティア活動：ニーズ 275 件、完了 214 件、未完了 61 件

（経済文化交流対策部）

- ふるさと納税災害支援：3 プロジェクト合計約 3 万件、総額約 4 億 3000 万円

（農林水産対策部）

- 応急食料配布：炊き出し実施日に数量減（千丁コミセン）
- い草草原・畳表の処分：9 月 22 日～10 月 5 日、220 戸に DM 送付済。出足は鈍いが今後増加見込み

（議会対策部）

- 市議会議員からの情報提供・要望：2 件追加、内部資料として共有

（その他発言）

- 【市長・財務対策部】減免申請件数が少ない（約 100 件）→周知不足の可能性。制度の周知方法の再検討を指示
9 月 19 日以降の罹災証明発行分には申請書同封開始。今後も広報・市報等で周知強化
- 【建設対策部】千丁コミセン避難者（2 世帯）が市民球場跡地の仮設住宅に入居予定。電気・スロープ整備後に対応

4 災害対策本部長訓示
別紙のとおり

以上